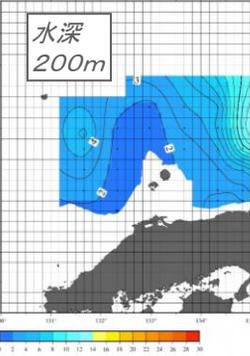
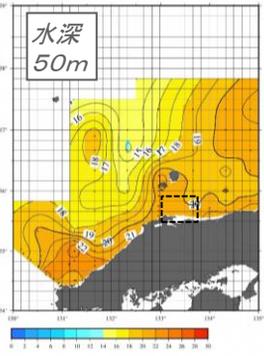


暖流海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は27.2℃を示しています。
【前年差: -0.57℃、平年(直近30年)差: -3.06℃】

平均水温は18.3℃を示しています。
【前年差: -2.16℃、平年(直近30年)差: -0.18℃】



平均水温は20.3℃を示しています。
【前年差: 2.96℃、平年(直近30年)差: 1.05℃】

鳥取県～兵庫県沖に10℃以上を示す暖水塊があります。

水産試験場

境港のスルメイカの水揚げが好調

境港では10月以降、小型イカ釣り漁船による生鮮スルメイカの水揚げが好調となっています。10月上旬(速報値)は、前年比0.8倍、平年(直近10年)比3.28倍となる14377箱(25入りサイズ主)となり、直近10年で3番目に多い水揚げがありました(図1参照)。

近年の境港における小型イカ釣り漁業主漁期は1月～3月であり、昨年の8月～10月の水揚げ増加に引き続き、異例の現象だと言えます。

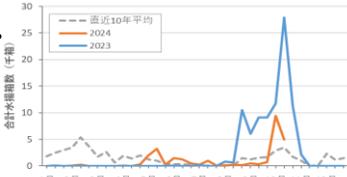


図1. 境港における小型イカ釣り漁業による生鮮スルメイカ旬別水揚げ箱数(速報値)の推移

日本海のスルメイカ分布状況を把握するために実施している漁場一斉調査では、2024年の結果が過去最低値を更新(図2参照)。当年における日本海スルメイカの分布量は、過去最低水準と考えられています。この結果から2023年および2024年は、平年とは異なる時期(8月以降)にスルメイカが来遊し、漁場となっている暖流海峡周辺を含む鳥取県沿岸域に、日本海に分布するスルメイカが集中し、局所的な漁場を形成している可能性があります。

鳥取県水産試験場では、来遊と漁場形成要因を特定するため、水揚げされたスルメイカの精密測定と、詳細な漁場の聞き取り調査を継続して実施しています。

今後とも、調査の御協力よろしく願いたします。



写真(上) 境港に入港した小型イカ釣り漁船
下) 水揚げされたスルメイカ
(2024年10月8日撮影)

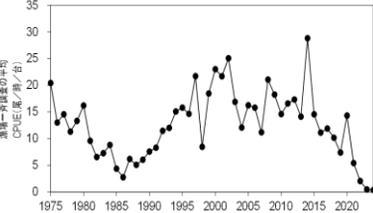


図2. 日本海スルメイカ漁場一斉調査における全調査点の平均CPUE(いか釣り機1台1時間当たりの漁獲尾数)

※日本海におけるスルメイカ秋季発生系群の分布状況を把握するため、日本海側の7都道府県(鳥取県を含む)および水産研究・教育機構によって同時期に実施(6月中旬～7月上旬)するイカ釣り操業試験。

2024年の調査CPUEは0.38尾で、前年(0.49尾)および近年平均(0.59尾)を大きく下回り過去最低となった。

(2024年度 日本海スルメイカ長期漁況年報 より一部抜粋)

令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

10月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥取県沖冷水域 隠岐諸島北方の冷水域	鳥取県沖のN36°以北に冷水域が認められました。
山陰・若狭沖冷水域	鳥取県東部沖N38°以北に冷水域が認められました。
その他	隠岐諸島北西のN36°25'以北に15～16℃の暖水塊が認められました。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れ、主流の一部は鳥取県沖冷水域及び隠岐諸島北方冷水域に沿って流れると考えられます。また、隠岐諸島北西のN36°25'付近では15～16℃の暖水塊周辺に時計回りの流れが生じると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

ズワイガニの適正な表示について

鳥取県産のズワイガニのメスは「親がに」と呼ばれ、地域特有の名称として県内外に認知されており、漁業者は自負を持って知名度向上と資源管理に取り組んでいます。

近年、北海道で水揚げが増加している「オオズワイガニ」を県内小売店等で販売される際に、「ズワイガニ」のメスの地方名称を用いて表示する例が散見されます。この2つは、もとより種が異なり、品質や価格に違いがあるにも関わらず、地方名称を用いていることから消費者に誤解を招く恐れがあるため、適正な表示の徹底を呼びかけています。

	オオズワイガニ (ワカダイ種)	ズワイガニ (オシロイ種)
姿		
口の形		
色	生は濃い茶色、ボイルは赤色	生は薄い茶色、ボイルはオレンジ色
見た目	比較的大型になる。ゴツゴツして殻が固い。足が大きく、甲羅が横長なのが特徴。	比較的中型。甲羅が小さく立体的。脚が細く長い。スラリとしている。
その他	日本海には生息しない 北海道では採卵目的で採捕	鳥取～富山沖はズワイガニA海域と呼ばれ11/6が解禁日

<誤解を招く表示例>
-北海道産 親がに、親がに
<適切な表示例>
-北海道産 オオズワイガニ メス

不明な点は鳥取県水産振興課まで
0857-26-7317

県東部で
カニイベント開催!

栽培漁業センター

ウマヅラハギの産卵期が判明!

カワハギ籠は産卵期5月～6月に休漁

中部地区漁業振興協議会カワハギ籠部会では、ウマヅラハギの資源保護のため産卵期に自主休漁し、これまで6～7月を休漁期としてきました。しかしながら、昨年の協議会で「ウマヅラハギの産卵期と休漁期間がズレていないか調べてほしい」という要望があったため、このたび、産卵期を詳細に調べたところ、産卵盛期は今の休漁期よりもひと月早い5～6月であることが分かりました。調査結果を受けて、協議会では休漁期を5～6月に変更することになりました。適正化された資源保護の取組により、今後水揚げが向上していくことを期待しています。

産卵期の調べ方

- ① 体重に占める卵巣の重さを調べて成熟の進み具合を確認: グラフ
- ② 卵巣の組織を顕微鏡で観察して、熟した卵の細胞や産卵した跡があるかを確認: 写真

産卵直前の卵母細胞

産卵終了

未熟

潮に夢を 共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市京町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530